

Bridge ~市民病院と地域をつなぐ~

— 目次 —

- 創刊にあたって
- トピックス
 - 1 高度放射線棟が完成しました！
 - 2 不整脈外来の開設について
- 講演会・研修会のご案内
- 患者総合支援センターの紹介

vol.1
2016. 12. 1

発行：豊橋市民病院 患者総合支援センター

創刊にあたって

院長 加藤 岳人



師走の候、ますますご健勝の事とお喜び申し上げます。日頃より当院の地域連携につきまして、格別のご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

このたび、地域の医療機関の皆様とのさらなる連携の充実を図るため『Bridge ~市民病院と地域をつなぐ~』を発刊する運びとなりました。

当院の地域連携は、平成8年に現在の豊橋市青竹町に当院が移転した際、豊橋市医師会との間に「病診連携システム」を立ち上げたことに端を発しています。常日頃の診療の中で、精密検査や手術を伴う治療が必要となった場合、また、病状が重篤な場合には当院を御紹介いただき、患者さんに適切な検査や治療等を受けていただけるよう、地域の医療機関との機能分担、相互連携、高度医療機器の有効活用を念頭に置き、効率的で質の高い医療を提供できるよう努めております。

高齢者の人口が増える社会において、地域包括ケアシステムの構築が推進される中、地域連携による機能分担と相互連携は、医療機関のみならず福祉介護関連機関との連携においてもますます重要なものとなります。そうした中で、本誌がその一助になれば幸いです。

今後も円滑な地域連携を推進すべくスタッフ一同頑張っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

副院長

兼患者総合支援センター長 雄山 博文

『Bridge ~市民病院と地域をつなぐ~』の発刊にあたり一言ご挨拶申し上げます。

患者総合支援センターは平成22年に開設し、今年で7年目を迎えました。当センターは、地域の医療機関との紹介・逆紹介についての窓口であるとともに、当院に入院及び通院する患者さんが抱える社会的な問題や治療上の悩みについて、患者さんや家族とともに考え、患者さんが安心して療養生活を送っていただけるよう支援を行うなど、地域との架け橋としての役割を担っております。

さらに来年度からは、当院に入院する患者さんが安心して住み慣れた地域に帰ることができるよう、退院支援にかかる体制を強化することとしており、今後当センターの役割はさらに重要なものとなります。

関係機関の皆様とは、さらなる連携強化のため、本誌を通じて多くの情報提供を行ってまいりたいと考えております。

今後とも当センターにご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



【トピックス1】

高度放射線棟が完成しました！



導入機器の特徴

◆Vero-4DRT

放射線治療すべき腫瘍に対して、体を動かさずにあらゆる方向から治療することができます。

大切な臓器を避けたピンポイント照射やX線の強さを調整したIMRT(強度変調放射線治療)、さらには呼吸に合わせて動く腫瘍の位置を確認しながら治療を行う動体追尾照射(4次元放射線治療)により、まったく新しい放射線治療の環境を提供します。

また、これらの治療が短時間でできることから、体が受ける負担を極力減らすことを考えた、これからの高齢化社会に適した装置といえます。



◆True Beam

乳房や、子宮頸がんに対する通常治療から定位放射線治療などの特殊放射線治療まで、高精度で行うことができます。治療の正確さ、短い治療時間、対応できる治療法の多彩さにおいて、現在、世界最高峰の高機能放射線治療装置の一つといえます。

さらに当院では、治療位置照合線システムと6軸ロボット寝台並びにコーンビームCTを導入することで、治療位置照合時間も短縮され、より安全に高精度放射線治療を受けていただくことが可能となります。



◆PET-CT

がん細胞は通常の細胞の数倍の糖分を取り込む性質があるため、ぶどう糖に近い成分の薬剤を注射し、その成分が全身のどの部位に集積するかをPET装置とCT装置で同時に撮影して2つの画像からがんを発見します。また呼吸による体の動きによってがんを見つけにくくなることもありますが、今回導入した最新のPET-CT装置はこれまで以上に短時間で呼吸に合わせて撮影を行うことができるため、正確な検査をおこなうことが可能となります。

放射線科より

高度放射線棟が完成し、最新鋭の高精度・高機能の定位照射やIMRTが実施可能な放射線治療装置を2台設置し、体への負担が少ない治療が可能となります。

また、PET-CT、SPECT-CTの導入により、既設のガンマカメラと合わせアイソトープ検査は3台体制となります。

このような診療機能の充実により、これまで他院に紹介していた症例も当院での対応が可能となり、患者サービスのより一層の向上が図られ、地域医療に貢献できるものと考えています。



放射線科 部長
石原 俊一

装置名	稼働時期
PET-CT・SPECT-CT ガンマカメラなど(検査機器)	平成28年10月(稼働中)
TrueBeam (汎用型放射線治療装置)	平成29年2月中旬
Vero4DRT (強度変調放射線治療装置)	平成29年3月上旬

※それぞれの機器の稼働時期は左記のとおりです。

なお、稼働当初は院内の患者さんのみの検査・治療となりますが、順次地域の医療機関の皆様からのご依頼もお受けする予定です。

詳細は、決定次第ご連絡します。

【トピックス2】

不整脈外来の開設について

本年9月から、循環器内科において不整脈の専門外来を下記のとおり開設いたしました。

不整脈は上室性期外収縮といった経過観察でよいものから、心室頻拍などの緊急性を要するものまで多くの疾患が存在するため、症状も多彩で診断が困難なこともあります。また治療方針も経過観察、薬物治療、カテーテル治療と選択枝が複数あり、どれが一番適しているのかは同じ不整脈疾患でも患者様毎に異なります。新しく開設した不整脈外来では、患者様一人一人の症状や心配不安の訴えを良く聞き、その患者様が最も満足して頂ける治療方針を提案させて頂きます。経過観察の場合、定期的にホルター心電図などでフォローさせて頂きます。薬物治療の場合、抗不整脈薬は種類が多く副作用も多いため、患者様毎に細かいさじ加減で調整させて頂きます。カテーテル治療につきましては近年のカテーテルアブレーション（心筋焼灼術）の進歩により多くの疾患が根治可能になってまいりましたので、しっかりした説明の上で理解と同意が得られれば、従来行われてきた発作性上室性頻拍だけでなく心房細動や心室性期外収縮に対しても積極的に行っております。心房頻拍や心室頻拍といった回路の同定や頻拍源の推定が困難な不整脈に於いても三次元心臓マッピング装置（EnSite）を使用し成功率を高めております。

不整脈の疑いがあるけれど診断がつかない、不整脈で経過観察や薬物治療を行っているけれどこのまま様子を見てよいのか不安だといった患者様がみえましたら、お気軽にご紹介ください。

なお、患者様の希望と下記日程が合わない場合などにつきましては、循環器内科外来にご紹介ください。

【開設日】 毎月第2、第4金曜日 午後2時から4時まで
【担当医師】 循環器内科第三部長 富田 崇仁 医師



講演会・研修会のご案内

★ 第57回豊橋がん診療フォーラム ★

『あなたの施設はどうしますか？
—リンパ浮腫治療の知識と環境づくり—』

日時：平成29年1月19日（木）

場所：診療棟 3階 講堂

対象：地域の医療従事者の方ならどなたでも

その他：詳細は、別途ご案内させていただきます。

★ 豊橋市民病院緩和医療講演会 ★

『地域連携における緩和ケアの実現』
—地域医療における切れ目のないがん疼痛治療の推進—

日時：平成29年2月8日（水）

場所：診療棟 3階 講堂

対象：地域の医療従事者の方ならどなたでも

その他：詳細は、別途ご案内させていただきます。

★ 豊橋市民病院放射線技術研修会 ★

日時及び内容：

平成28年12月16日（金）「緊急CTにおける読影補助（頭部領域について）」

平成29年 1月20日（金）「低被ばく施設認定に向けた一般撮影における患者臓器吸収線量の求め方」

平成29年 2月 3日（金）「マンモエコーとマンモグラフィの対比」

平成29年 2月17日（金）「面積線量計の表示値と実測値の線量を比較してみよう」

平成29年 3月 3日（金）「画像再構成のシュミレーション」

平成29年 3月17日（金）「ガンマカメライメージングでのカウント測定」

場所：診療棟1階 放射線技術室 対象：放射線技師

その他：詳細は放射線技術室 三浦までお問い合わせください。

★ 豊橋市民病院薬薬連携研修会 ★

『経腸栄養剤について』

日時：平成29年3月9日（木）

場所：診療棟3階 講堂

対象：薬剤師

その他：詳細は、別途ご案内させていただきます。



患者総合支援センターの紹介

センターの業務

医療福祉相談 退院・転院支援

- ・社会的な問題に対する支援(医療費や社会保険制度についてなど)
- ・社会復帰に向けての支援
- ・在宅に向けて、院内外の多職種との連携
- ・内容が複雑な転院調整
(MSWと退院調整Nsが対応いたします)

地域連携

- ・紹介・逆紹介窓口(病診連携・病病連携)
- ・地域の医療機関の紹介や連携(講演会・研修会の運営・案内など)
- ・地域連携パスの運用支援(5大がん、脳卒中)

がん相談

- ・治療や療養にかかる相談
- ・就労支援
- ・緩和ケア外来、セカンドオピニオンの受付
- ・ピアサポート事業の実施

女性相談

- ・女性特有の悩みや不安
(女性看護師が面談や電話で相談対応)



センタースタッフ



医療ソーシャルワーカー



センター主幹



退院調整Ns
がん性疼痛認定Ns

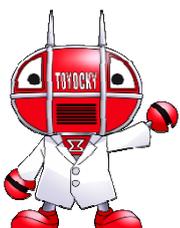


病診連携室



地域連携担当

訪れる皆さんの癒しになれば
とセンター受付に季節の折り紙
を展示しています。



この広報誌に関するご意見・ご要望は下記へお寄せください

 豊橋市民病院 患者総合支援センター

〒441-8570 豊橋市青竹町字八間西50番地

TEL (0532)33-6111(代) 内線1424

FAX (0532)33-6230